

よろてば 沼垂

Vol. 50最終号

3月

「東新潟中学校の軌跡Ⅲ」

校名問題は難産の末
東新潟中学校
と
ようやく決定



昭和59年8月28日付
新潟日報 朝刊
坂田清治、小野田金三 対談



坂田清治・・・初代 東新潟中学校教頭
小野田金三・・・当時の新潟市視学

当初の有力校名案
沼垂中学校・・・名
覆る！！

坂田長嶺は3年目に
木戸中学校と合併した
んですが、沼垂中学校
とした人が多いのに、
できる場所が木戸地区
なんです。夜中まで議
論してもダメ、結局教
育委員会に東新潟中学
校とつけてもらいまし
た。

<校名問題>

平成25年の舟栄中と二葉中が統合して「新潟柳都中学校」が誕生するまでは、新潟市で「新潟」の名前をもつのは唯一「東新潟中学校」でした。この校名はどのような経緯で命名されたのでしょうか。20周年記念誌より、当時の長嶺中学の教頭先生だった坂田清治先生の回想には次のように綴られています。

「東新潟中の前身が長嶺中学であり、木戸中学であることはご承知の通りですが、この両校が統合されるに当たってどんな校名にするかが大問題でした。生徒数から言えば長嶺中学が断然多いのですが、新校舎の建築位置が山木戸ということで、学区民の感情に微妙なものがあつたからです。確か昭和25年に統合されたと記憶してますが、その前年、校名決定の最後のPTA役員会が秋も深まったある夜、現在の長嶺小学校の一室で開かれたのでした。議長は歯科医だった手島先生、開会前から役員会の空気は、大げさに言えば殺気立っていました。沼垂中学、江東中学、山木戸中学などいろいろな案が出たようですが、いっこうにまとまりそうにありません。それもそのはず、長嶺中学側の委員は沼垂に因む校名を強く希望するのに対して、木戸側は新校舎の位置からこれに対して釈然としないものがあるのです。甲論乙駁、いつ果てるとも知れない有様です。さすがに古川大六校長先生もその会の空気を察して学校側としての意見は積極的にお出しにならなかつたようでした。とうとう木戸側の委員が総退場という場面になろうとしました。そのとき、会議の途中から顔を出された高橋清一郎先生 当時PTA役員で代議士がその場を納め、結局、当時の市当局の教学課長、伏木弘照先生に白紙一任と言うことで、この委員会は幕を閉じたのです。その後、数日にして、伏木先生から「東新潟中学校」という立派な校名が通達されました。」


新制中学校発足当時は、校名問題をはじめ、新しい中学校を創りあげていくまでに、地域の人々の期待とともに様々な問題があり、それに真摯に向き合っ解決してきた先達の努力は、今も東新潟中学校の建学の精神として受け継がれています。

(東新潟中学校 第18代校長 津野庄一郎 つづく)


*よろてば沼垂では、地域の茶の間と、会報誌の存続のため、一口五百円から寄附を募っております。何卒、宜しくお願いします。

歌声喫茶 & よろず相談

10,17日



歌声もよろず相談も参加者は少なかったですが、おしゃべりで盛り上がったとのことです。



よろてば食事会 ~カレーの日~ & 寄席

31日



■ この日は特別にカレー会終了後、寄席を開催予定でしたので参加者を期待しましたが・・・



■ 結局、いつも通りの人数。寄席はNAMARA芸人、**毘八家五円**をお呼びしました。落語だけでなく、その前のトークから盛り上がり、みんな笑いがどっと起こり、非常に楽しい一日になりました。




6日
(金)

よろてば映画会

「万引家族」

監督：是枝裕和
主演：リリー・フランキー
樹木希林、安藤サクラ
『誰も知らない』
『そして父になる』
などの是枝裕和監督による
人間ドラマ。親の年金を
不正に受給していた家族が
逮捕された事件に着想を得たという
物語が展開する。
受付時間 13:20～15:30
(上映時間 2 時間弱程度)



13日
(金)

よろず相談&血圧測定 歌声喫茶

地域包括支援センター宮浦東の職
員さんに来ていただいています。血圧
や骨密度測定などの簡単な健康チエッ
クができます。今回は歌声も同時開催。

時間 13:30～15:30



3月

27日 (金)

よろてば食事会

～カレーの日～

毎度おなじみのカレー会ですが
今回でよろてば沼垂でのカレー会が最終
回です。4月以降は沼垂よりどころ やさい
村にて開催いたします。

時間 9:30 ～ 調理
12:00～ 昼食

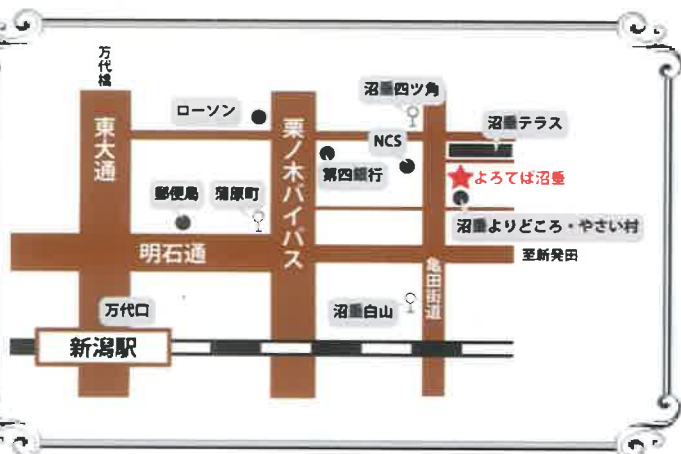


料金 300円

20日
(金)

お休み

春分の日 のためお 休みです。



* 大切なお知らせ

よろてば沼垂は今まで空き家利用として活用してきましたが、4月より沼垂ビールの移転により、活用できなくなり、閉鎖することになりました。ただし、カレー会の存続の要望もあり、4月からは沼垂よりどころで、これまでどおり月の最終週に行うこととしました。そのほかの企画も沼垂よりどころの体制を整えて開催していく予定です。会報誌も一旦の終了としますが、4月から沼垂よりどころの会報誌として発信していきますので、よろしく願いいたします。

よろてばコラム

「ストレスが大きければ大きいほど力を発揮できる！！」

この世の中、大きなストレスがかかってこそ技術の向上があり、発信力も向上してきたのだと聞いた。発奮力、護衛力、精神力、地域力、読解力、転倒力、聞く力、見る力、話す力もそのようである。ストレスの効用なのだという。だがミュージシャンの坂本龍一さんは、あの東日本大震災時「音楽の力」という言葉に嫌悪感を抱いた。なぜなら、社会に政治に利用されている感じがして「一番嫌いな言葉です」と2月2日の朝日新聞で話している。

また、ストレスを抱え込みすぎて快樂の世界を求め薬物に手を出した芸能人・野球人、ミュージシャンなども報告されている。再犯か、同じ名前を幾度も聞くということは完治の難しさを物語っている。以前「薬物乱用防止委員」を6年ほどやっていた関係で薬物の怖さ、恐ろしさを学んできた。「できれば小学校入学時に教えたほうがいいのです」と識者は言う。なぜならば、ドロップのようにみえる薬物(ドラッグ)もあるからだ。アメリカのカリフォルニア・オークランドの小学校での合言葉は「JUST SAY NO)やだと！です。

私もストレスに押しつぶされ救急搬送されたことがある。突然だった。大きな解体工事があり「報告された工事期間はとうに過ぎていた」いつまで続くの？と指折り数えていたある日のある朝の出来事であった。体が悲鳴を上げた瞬間である。ストレスの効用をもっと、もっと学び二度と救急車に乗らない手立てを学ばねばならない。生涯学習！生涯学習！

稲垣 しず子

コラコラ、あられちゃん

段ボールと膨大な小箱の片づけながら、母がわたしを呼ぶ。

桃の俳句といえは雅なつくりのひな飾り。

だが、ぼんやりの脇に追いやられたほんのり桃色のパッケージを、わたしは見逃さない。

ざらつとした手触りの紙包みは赤いひもでくられている。そのなかに、ぎっしり詰まった赤、白、緑のちいさなあられ。

おひなさまがちょつと眉をひそめているように感じるほど、わたしは昔からひなあられに目がない。

3月3日の夜、待ちに待ったあられをざあ一つと大皿に開ける。三色が皿の上になだれ込み、あまり勢いがついて、ひとつふたつ食卓の向こうに跳ねる。

ちんまり丸いあられは指でつまむのに丁度いい。

家族は思い思いに一粒ずつつまんで、お茶を飲む。

お行儀のよくないわたしは、ここぞとばかりに白いあらればかりを集め、手のひらにストックしてひといきに食べる。

おひなさまもあきれはるはずだ。

窓に舞う霰(あられ)さえ、砂糖の味がするのかと想像しては筆が止まる。

桜の季節も目前だが、わたしの春はまだまだ先の話である。

本間 詠子

今回第50号が最後となりました。沼垂地域の皆様のご理解とご協力により、発行できました。今後は沼垂よりどころの会報誌として発行していきませんが、ほとんど内容は変わらず、沼垂の発展につながるよう、いろいろな情報を発信してまいります。ご意見やご要望がありましたら、気軽にお問い合わせください。

毎月500部発行
沼垂東・日の出・本馬越
地域 回覧配布予定

2020.2.25 発行 企画運営：よろてば沼垂

表紙ロゴ作成：Photo-HATRIX(羽鳥 朗) 編集：青木 洋之

発行(代理)：特定非営利活動法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎